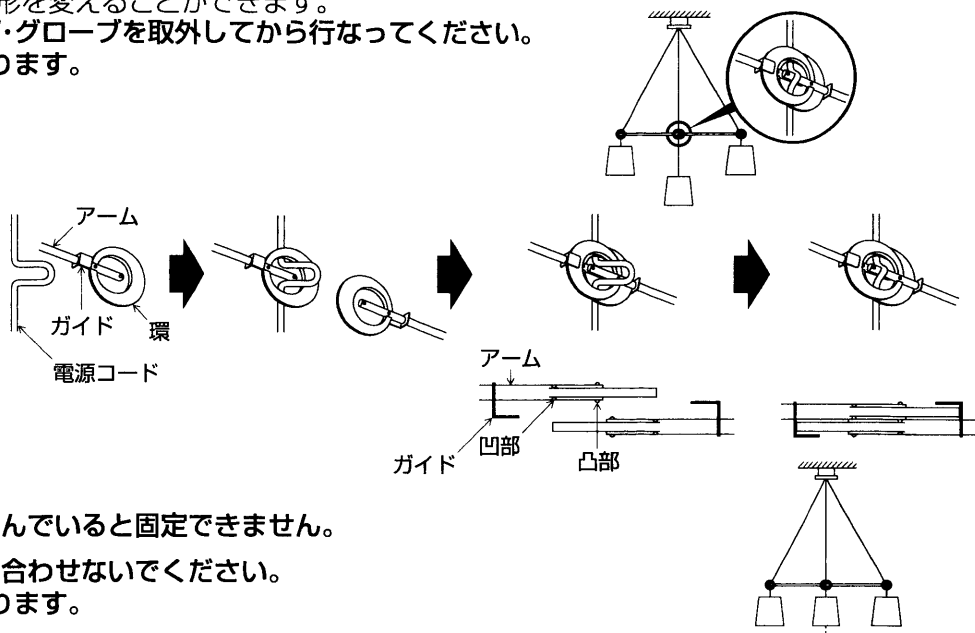


■アームの組み合わせについて

- 2本のアームを使用して直列にも形を変えることができます。
- ※アームの組み合わせの際はランプ・グローブを外してから行なってください。破損・落下によるけがの原因になります。

<取付手順>

- ①アームのガイドが付いている側の環の中へ電源コードを入れる。
- ②連結するアームのガイドが付いている側の環の中へ電源コードを入れる。
- ③各アームのガイドを環に合わせ、アームの凸部と凹部を合わせて、電源コードのたるみを取って固定する。



※環の中へ入れた電源コードがたるんでいると固定できません。

※ガイドが付いていない環どうしを合わせないでください。破損・落下によるけがの原因になります。

灯具を平行にする場合、■施工手順 4 を参考に中央の電源のコード長さを調整してください。

❗ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

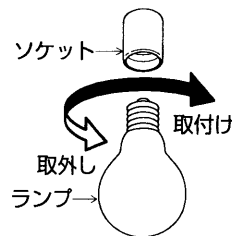
△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 古くなったランプを取外す

3 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行なってください。落下によるけがの原因になります。



4 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■グローブの取外し方 △注意 グローブの取外しの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

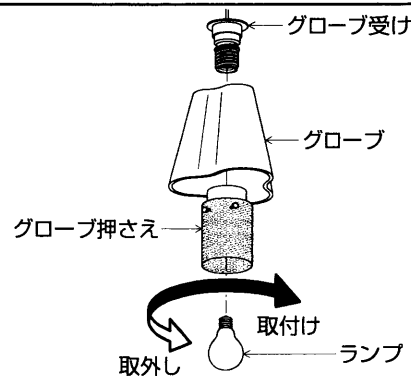
1 電源を切る

2 ランプ・グローブを取外す

ランプを取外し、グローブを支えながらグローブ押さえをゆるめて取外す。

3 グローブ・ランプを取付ける

グローブをグローブ受けに合わせ、グローブ押さえで取付ける。ランプを取付ける。



■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明株式会社

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

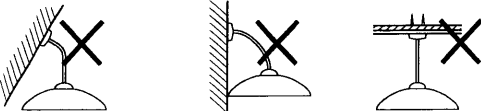
型番 APE510185・APE510186・APE510187・APE510188

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
 厳守 器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。		 禁止 器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。	
 禁止 このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。  傾斜天井 壁面 補強のない場所		 禁止 器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。 →電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。	
 分解禁止 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。		 厳守 電源コードが損傷した場合(芯線の露出・断線など)、速やかに電源を切り、工事店・電器店に修理を依頼してください。 →そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。	
 禁止 埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。		 厳守 異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。	

⚠ 注意			
この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
⊘ 禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	⊘ 水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。 →火災・感電の原因になります。
⊘ 禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。	⊘ 禁止	器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
	エアコンの吹き出し口の前など常時風の当たる場所や強い風の当たる場所には取付けないでください。 →落下によるけがの原因になります。		
		❗ 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。

■定格

型番	定格電圧	消費電力	使用ランプ
APE510185・APE510186 APE510187・APE510188	AC100V	180W	クリプトン球 60W(E17)×3

取説No. P103-124 TA/S・T

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 取付面がクロス貼りの場合

接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。
変色やサビの原因になります。

3 取付ピッチ

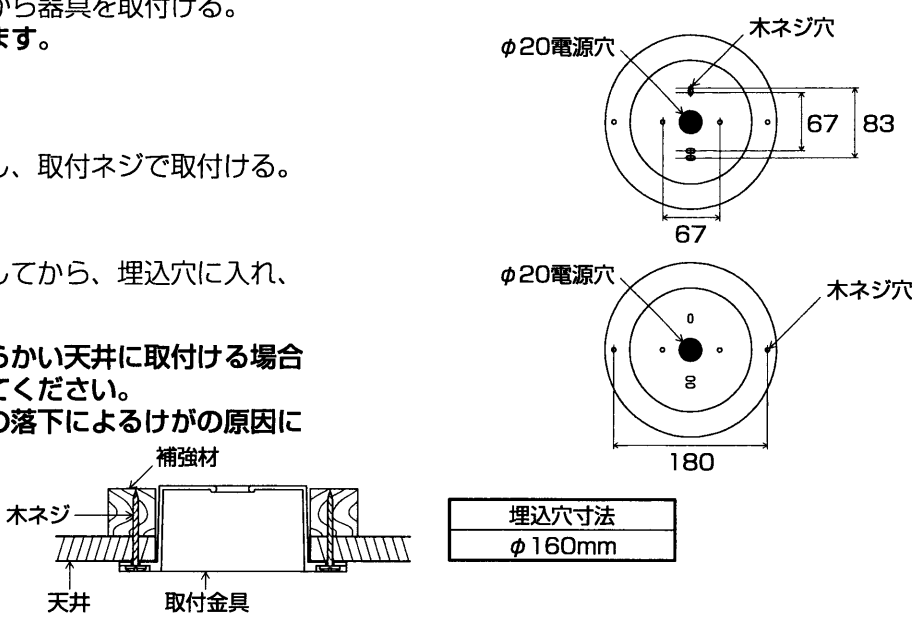
＜直付の場合＞

取付金具に電源線を通し、取付ネジで取付ける。

＜埋込の場合＞

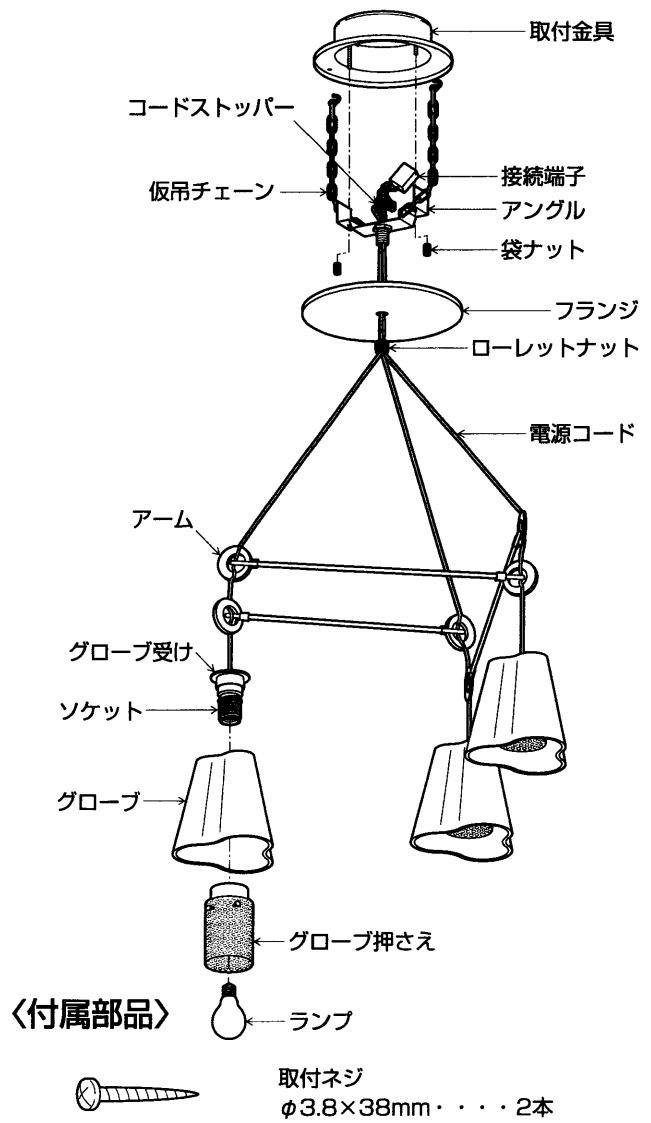
取付金具に電源線を通してから、埋込穴に入れ、
取付ネジで取付ける。

※ロックウォール等の柔らかい天井に取付ける場合は、必ず補強材を入れてください。
補強のない場合、器具の落下によるけがの原因になります。



■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



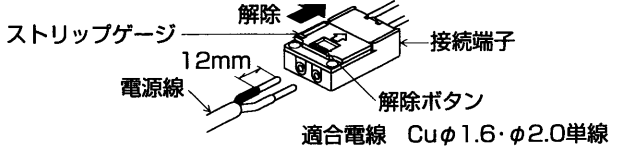
＜付属部品＞

取付ネジ
φ3.8×38mm・・・2本

3 電源線を接続する

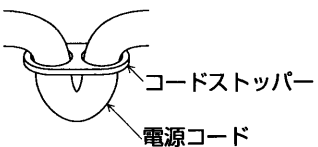
ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、
接続端子に確実に差し込む。
はずす時は解除ボタンを矢印の方向に押し、電源線を
抜く。

△警告 電源の接続を確実に行ってください。
接続が不完全な場合は火災の原因になります。



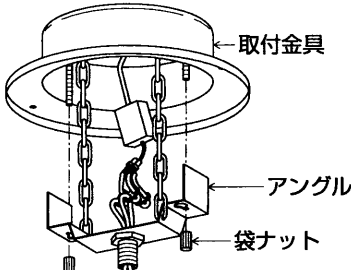
4 灯具の高さを調整する

電源コードの長さをコードストッパーで調整して灯
具までの長さをそろえてください。



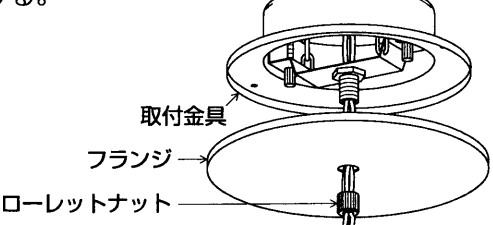
5 アンクルを取付ける

アンクルを取付金具に合
せ、袋ナットで取付ける。



6 フランジを取付ける

フランジを取付金具に合
せ、ローレットナットで取
付ける。

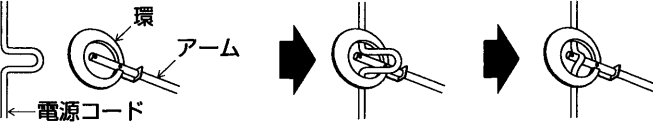


7 アームを取付ける

アームの先端にある環の中へ電源コードを入れ、引
っ掛ける。反対側も同様に引っ掛ける。

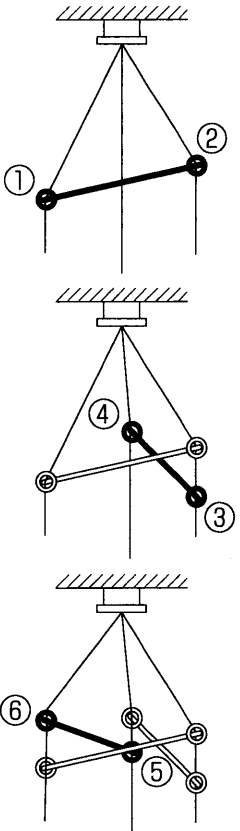
※グローブどうしがぶつからないように、必ずア
ームを取付けてください。

※アームはこの器具専用です。他の器具やものを取
付けしないでください。



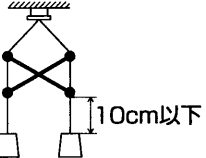
※環の中へは2本以上電源コードを入れないでくだ
さい。

＜取付手順＞

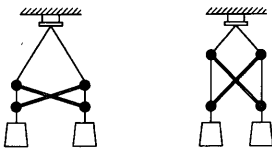


①～⑥の順でアームを取付ける。

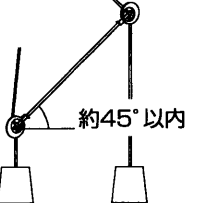
※環とグローブの距離は10cm
以下にしてください。



アームの取付角度によって器具の大きさが変えられ
ます。



※アームの取付角度は約45°以
内にしてください。



8 グローブを取付ける

グローブをグローブ受けに合わせ、
グローブ押さえで締め付ける。



9 ランプを取付ける

10 点灯の確認を行なう